

堺清陵 RC 提唱 WCS プロジェクト
インドネシア 共和国 バリ島 における
貧困婦人のための 移動クリニック支援について

堺清陵ロータリークラブ

前年度 国際奉仕委員長 渭 東 祥 晃

我々堺清陵 RC は前年度、インドネシア共和国バリ島において、貧困ゆえに受診できない婦人を救う移動クリニック支援の WCS プロジェクトを企画実行いたしました。

移動クリニック WHMC (Women Health Mobil Clinic) はバリ島に住む貧困婦人にたいして保健指導、性教育等を行い、ガン検診、性感染症の検診、医療を行うものです。この事業は堺清陵 RC の友好提携クラブである BALI・TAMAN RC のメンバーの一人が 1997 年 4 月に YAYASAN SEHATI(財団一つの心)を設立し運営されております。

移動クリニックは週 2 回保健所とリンクして、インフォメーションを行い、一回の受講者は約 50 名位。保健指導を受けた後、15 名程が検診を受けます。現在まで延べ約 8500 人の婦人が検診をうけております。

この事業には年間、日本円で約 100 万円の活動費を必要とします。これを基金 1500 万円(広島 2710 地区からの寄付金)の利息で賄っておりますが、近年の利率低下で運営費の捻出が苦しくなっているとのことです。

堺清陵 RC はこの活動費の一部を支援するため、WCS プロジェクトを計画し、堺 14 RC に協力を要請、うち、8 クラブからご賛同、ご支援をいただきました。その結果、地区からの WCS 補助金を合わせて 61 万円を集めることができました。日本の 61 万円は現地では約 10 倍の 600 万円の値打ちです。ご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げたいと思います。大変有難うございました。

今年の 5 月 21 日、当クラブから 5 名が関空を出発し、支援金の目録贈呈と移動クリニックの実態見学のため、バリ島を訪れました。

第一日目には友好提携クラブである BALI・TAMAN RC の例会に出席し、支援金目録の贈呈を行いました。長く、長く続く拍手に大きな感動を覚え、WCS 成就のため奔走した苦労も消え去った感じでした。更にその後、バリ島特有のバリ ダンスを楽しみながら、王宮料理をご馳走になり、タマン RC の会員と親睦を深めつつ、感動に満ちた、思い出に残る一夜を過ごすことができました。

翌日、移動クリニックの実態見学に出席。すでに 50 名ほどの現地婦人が和やかな雰囲気の中で保健指導を受けている最中でした。私達が到着したので、保健指導を中断して私達

が紹介され、WCS のことも詳しく説明していただき、ここでも大きな拍手で歓迎を受けました。その後、移動クリニックのバスの内部まで見学し、詳しい説明を受けました。狭いバスの中は上手くレイアウトされ、便利に段取りよく仕事ができるようになっていることに感心しました。

堺清陵 RC と BALI・TAMAN RC との間に友好クラブ提携が正式に成立したのは 1904 年 9 月でした。今回で 3 度目の支援活動ですが、そのうち 2 回は地区 WCS の援助を受けて行われたプロジェクトです。前回は友好提携調印記念に行ったもので、貧困児童に対して教科書、学用品、制服、靴等を配布し、子供達に大変喜ばれ、ダンスや歌で歓迎してくれたとの報告を写真を添えていただきました。

今回はバリ島に住む多くの貧困婦人が正しい性教育を受けるとともに、ガン検診、性感染症の検査、治療を無料で受けることができた大変有意義な奉仕活動でした。私達の行った小さな支援活動ですが、この度は実際に現場をみて、大きな感動と満足感とを得て帰国してまいりました。

TAMAN RC とは更なる親交を深め、相互に協力のもと国際奉仕の充実に努力して参りたいと思っております。

皆様方には、今後ともご指導とご協力をいただきますよう、お願い申し上げ、ご報告といたします。

